



▲七宝焼きに夢中な宇井さん

「細かい仕事をするのが好きで、自分が思うように作れるので、二年ぐらい前から、公民館活動でレジンフラワーや七宝焼きを始めるようになりました」と話す宇井よしあ江さん。

石コウに葉型を取つて固め、着色して仕上げるレジンフラワーの色と話す宇井さん。自分が作つたブローチやペンドント、七宝焼きで作った帯止めなど、どれを見てもすばらしいできばえです。

「できあがりを見るのが楽しみなんですよ。それに、これを作つている時は夢中になれますから」と話す宇井さん。

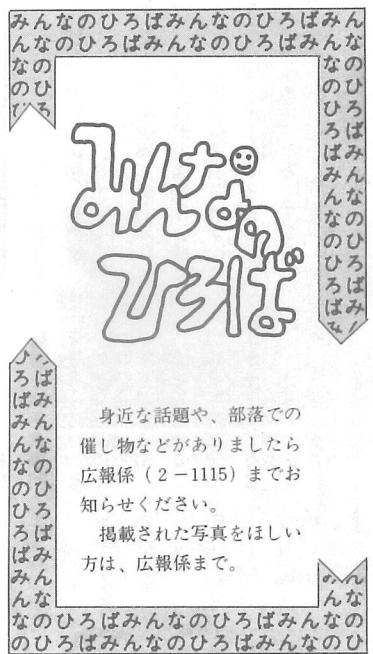
ローチやペンダントを、他の人の

忙しい中にも楽しい毎日

宇井よしあ江さん（本町）

身近な話題や、部落での催し物などがありましたらお知らせください。

掲載された写真をほしい方は、広報係まで。



横芝俳壇

横芝句会三月例会

肩と肘服光らせて卒業す
土屋 栗水

剪定の声通ひ合ふほど距離
成田 森子

仕送りの柳も暫しや卒業期
宇井 芝童

孤児の目に祖国は富めり二月尽
藤代 ゆう

卒業子に亡夫の面影重ね見る
若梅あやめ

降りしづく雨を背にうけ釣師らの
宇井 勇

受診待つベンチの老翁手をくみて
向後まさ子

手練のさばきあざやかなりき
宇井 勇

草ぬきて夫の墓標に注ぐ酒しばし
津田 若菜

香りて地に吸はれゆく
齊藤 寛次



俳句心得一、二浮かべて鳴雪忌
池田 和代
海保 恵保子

甲状腺病みて三年漸くに脈拍百を割りきし昨今
海保 きみ

庭草の色めき初めて鳴雪忌
池田 和代

たそがれて杉山くろく沈みゆき
海保 きみ

見上ぐる秀先に一月あり
津田 若菜

草ぬきて夫の墓標に注ぐ酒しばし
齊藤 寛次

香りて地に吸はれゆく
齊藤 寛次

ちちははの逝きしよはひをいつか
越え五人兄弟二人となりぬ
宇井 勇

降りしづく雨を背にうけ釣師らの
宇井 勇

受診待つベンチの老翁手をくみて
向後まさ子

手練のさばきあざやかなりき
宇井 勇

草ぬきて夫の墓標に注ぐ酒しばし
津田 若菜

香りて地に吸はれゆく
齊藤 寛次

ちちははの逝きしよはひをいつか
越え五人兄弟二人となりぬ
宇井 勇

降りしづく雨を背にうけ釣師らの
宇井 勇

受診待つベンチの老翁手をくみて
向後まさ子

手練のさばきあざやかなりき
宇井 勇

草ぬきて夫の墓標に注ぐ酒しばし
齊藤 寛次

横芝の碑

口碑が伝える子持講安講と子供を抱いた子安石像

子安講の風習のほとんどは、ぞくに「子安様」という慈母音に似かよつた姿を描いた掛軸を、当番の家に掲げ、その前で、持ち寄るか当番の家で用意した簡単な酒肴などで食事をしながら、子育ての身につけてもらえるのが、なによりもうれしいそうです。

最近は、メキシコ貝で白鳥などを形どった額も作つていているそうです。

また、この他にも、生け花や詩吟も習つてゐる宇井さんは、忙しくお産の話を中心に楽しく語り合つて過す、という形式で信仰の主

体は、掛軸にあるようです。

ところが、両国新田には「子安様」と呼ばれる、左手に子供を抱いた石像が祭られています。しかし、子安講は掛軸を掲げた前で行

うそうです。

子安講の行事は、以前は定まった月日に行われていたようです。

今では各地区ごとに、まちまちになつてゐるという話ですが、行事のものは同じようです。ただ、栗山の一部に「持込み子安講」という珍しい風習があります。

ある家で、お嫁さんに子供ができないと、だれかが子安講の人へ頼みます。頼まれた人は子安講の仲間を説いて、大安吉日を選び、子安講の掛軸と清酒、にしめなどを